

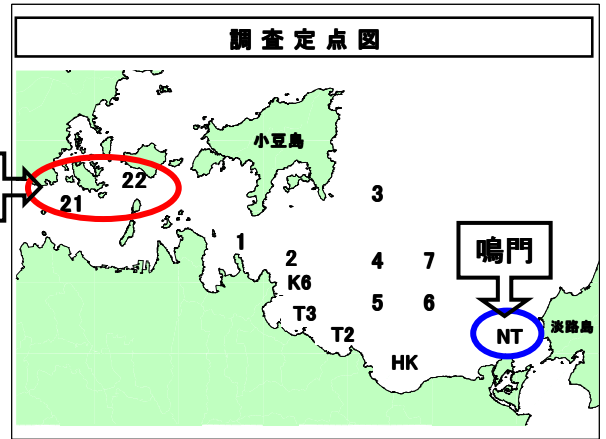
# カタクチイワシ卵稚子出現状況

(2009. 8- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511

備讃瀬戸



調査方法

調査日: 8月4日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)

(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.8.6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0			0.1	-
2008.8.1	0	0	0	1	8	2	0	11	0	1	0	0	0	1	2.1	1.7
2009.8.5	0	0	1	0	0	148	1	1	0	0	1	0	0	0	13.8	10.9
2010.8.4	0	0	94	4	1	99	0	27	0	0	0	0	0	1	20.5	16.1

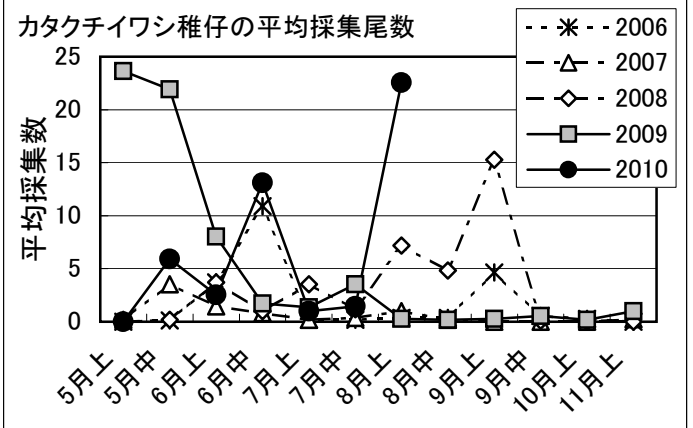
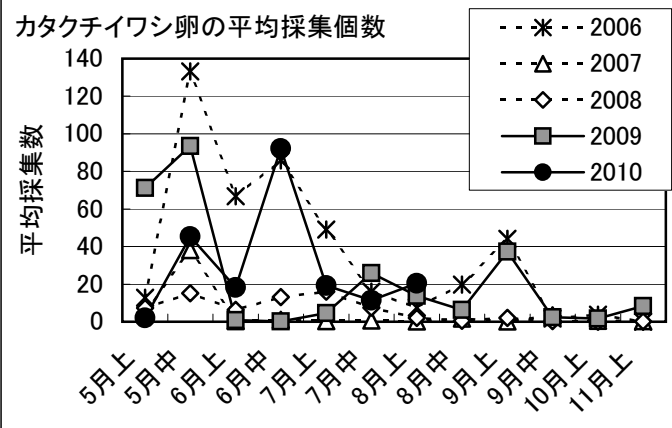
【カタクチ稚子】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.8.6	0	0	2	0	0	6	3	0	0	0	0				1.0	-
2008.8.1	1	1	9	13	25	12	11	3	4	0	0	0	0	11	7.2	6.4
2009.8.5	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.2
2010.8.4	2	8	25	76	13	15	41	50	0	3	15	0	0	15	22.5	18.8

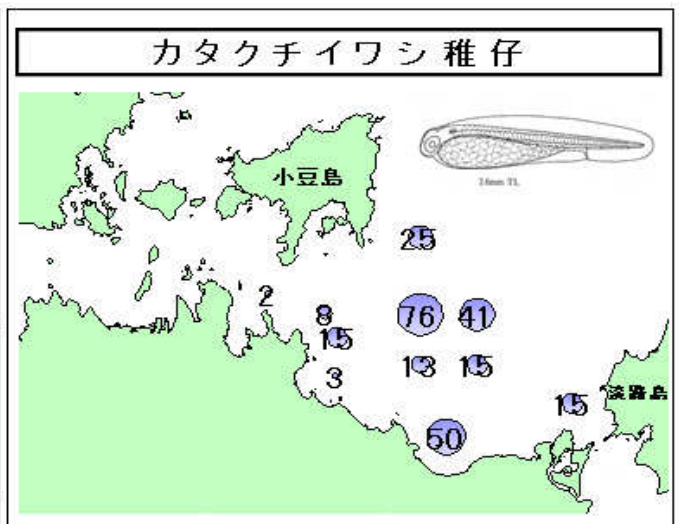
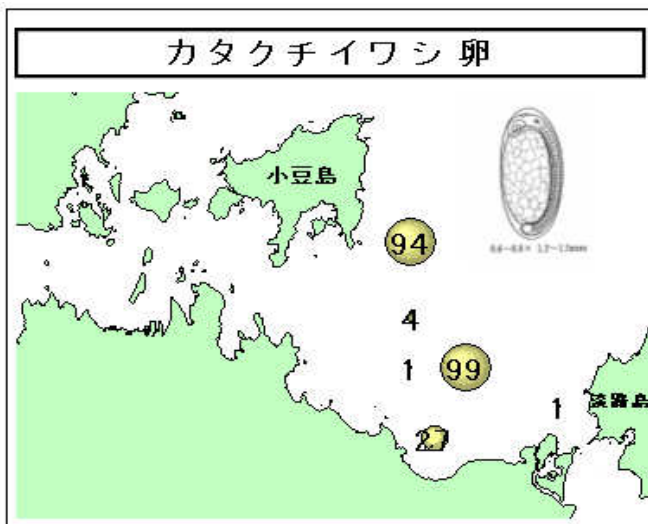
\* 表中の「-」は未測定を表す。

\* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

\* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



\* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は20.5個となり、昨年同時期を上回った。卵は沖合いでの出現数が多かった。

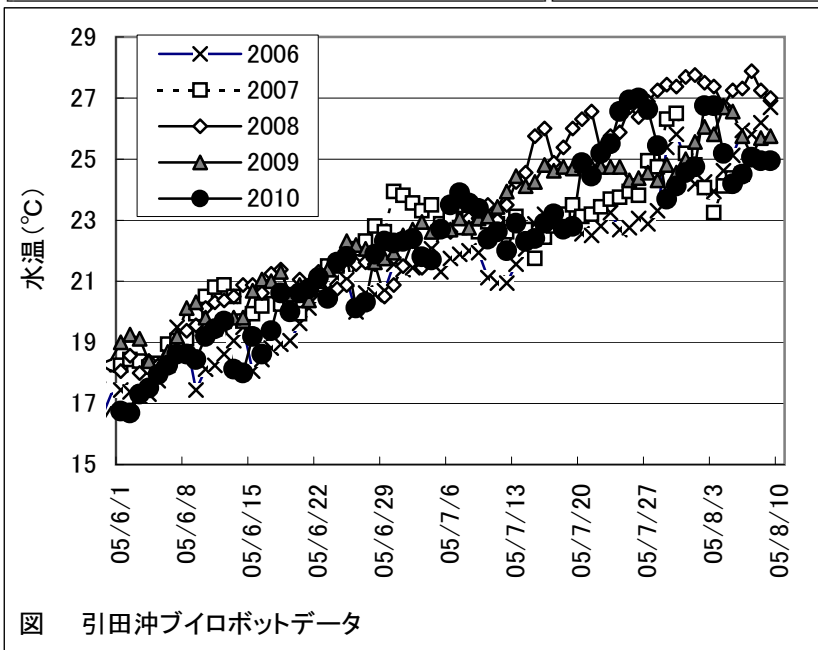
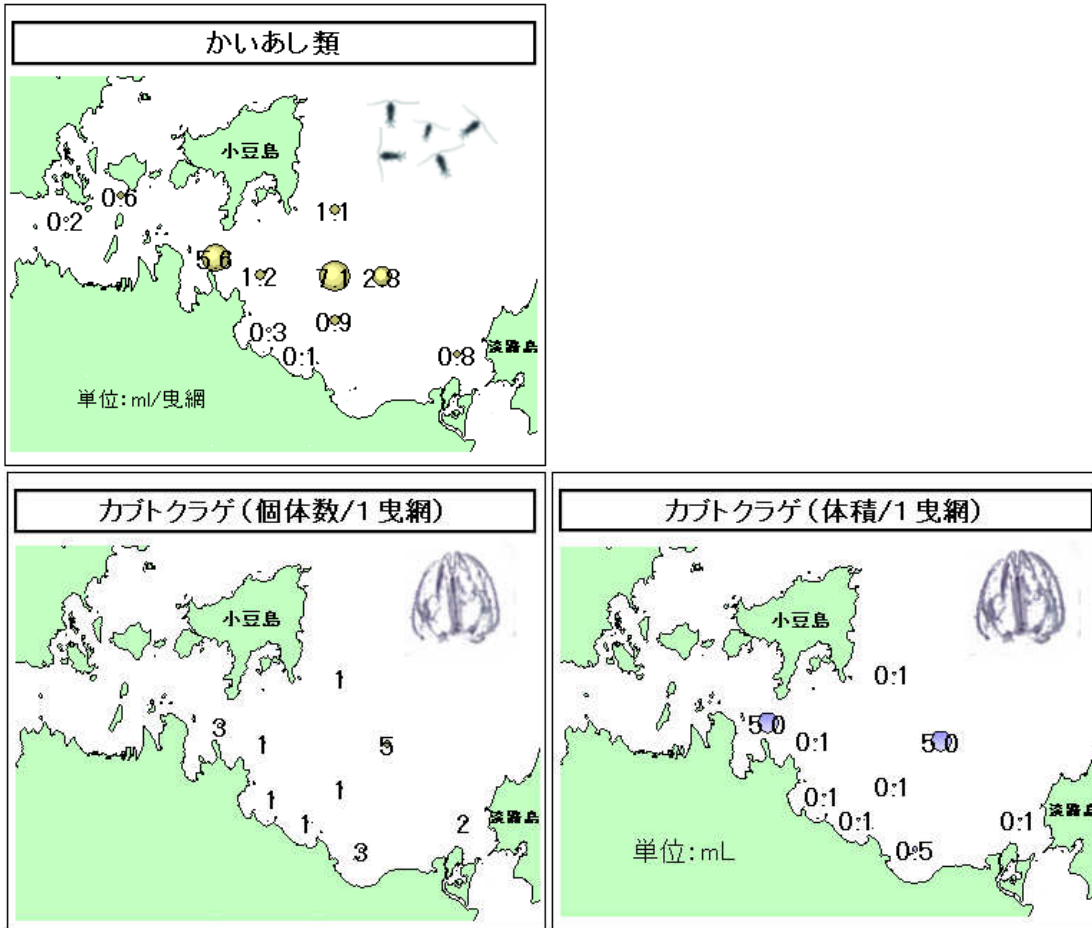
一方、稚仔の出現は平均で約 22.5尾となり、昨年同時期を大きく上回った。稚仔の出現は引田地先と、やや沖合いで多かった。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、6月以降の水温はやや低めからやや高めに推移し、8月はやや低めに推移している。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回より増加し、11点の平均は1.73個体と前回の2.4倍に増加した。

一方、カブクラゲが急減し、11点の平均は1.5個体であった。

【参考】



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>